

集団活動とICT機器の活用

日常的に病棟内で個別に学習している児童生徒に集団活動を保障することを目的に、ICT機器を使って病棟と学校、病棟と病棟をつなぐリモート授業に力を入れてきました。

また、病院の協力を得ながら、病棟内でも児童生徒が一同に集まって授業ができる機会を実現してきました。



リモートで対戦中 'コロコロゲーム'



「蒔いた種は育っているかな」

スイッチ操作で水やりを行います。



学校と病棟をZOOMを利用して繋ぐ



みんな一緒に病棟のデイルームに集まって授業を行いました。



体育館で行われた芸術鑑賞会を病棟でも見ることができました。

自立活動の充実

自立活動では、一週間を通して「健康の保持」「身体の動き」を中心課題とした取組を継続的に行っています。さらに個々の課題解決や周りの大人・仲間との信頼関係の構築・心理的な安定をねらいにした取組も新たに週1回授業を設定し内容の検討・充実を重ねてきました。



毎日の日課 ストレッチ



iPadを使った創作活動



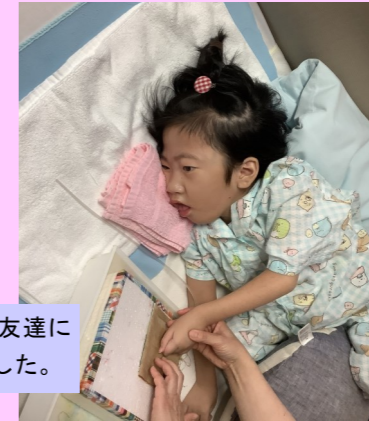
スイッチ操作「あ、動いた！」

生活単元学習・遊びの指導

生活単元学習・遊びの指導では、展開の中で友達同士の関わりや周囲の人たちとの関係作りを大切にしてきました。自分たちの活動を周りの環境とつなげ「ありがとう」と言われたり自分でやったと実感できる経験等を大切に授業を行うことで、児童生徒の意欲の高まりや興味の広がりを引き出すことができました。



作品を他学部の友達にプレゼントしました。



育てたシソの葉を機械で細かくしてふりかけを作りました。



新1年生もダイナミックな動きを集団の中で楽しく受け止められるようになりました。



コーヒーの脱臭剤とブックカバー



教材を工夫してリアルな雰囲気を感じることができた「病棟内いもほり」。



運動会の「果物もぎ競争」

重心教育部

〈研究テーマ〉

～ほっと～

病棟内授業の充実を目指した授業づくり

〈目指す児童生徒像〉

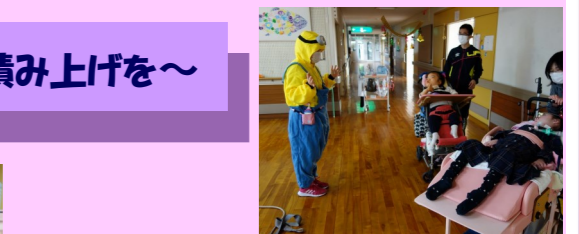
思いを表現し、仲間と共に、
力いっぱい生きる児童生徒

特別活動～集団を感じる経験の積み上げを～

特別活動は、できることを工夫しながら大切に取組んできました。



仲間と取り組んだ共同制作



外出ができなかった代わりに手作りの「修学旅行」を行いました。